

巡る語る佐賀県遺産

佐賀市エリア

佐賀市歴史民俗館周辺 JR佐賀駅より約2km

佐賀市歴史民俗館は、長崎街道周辺に建つ旧古賀銀行・旧古賀家・旧牛島家・旧三省銀行・旧福田家・旧森永家・旧久富家の7館をさし、佐賀市で整備保存されている。

開館時間：各館 9:00～17:00 休館日：月曜（月曜が祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（その日が土・日曜の場合は除く）、12月29日～1月3日



佐賀市歴史民俗館 旧古賀銀行

佐賀市柳町2-9 入館無料（企画展を除く）【1階：カフェレストラン】
☎0952-22-6849（佐賀市歴史民俗館） 駐車場あり



本格的洋風建築の 貴重な歴史遺産

明治18年(1885)に古賀善平が古賀銀行を設立し、明治39年(1906)に現在地に本店を新築して、九州の五大銀行に数えられるまでに成長した。大正5年(1916)に県内洋風建築の草分けと称される舟木右馬之助が設計に関わり大増築したが、不況により昭和8年(1933)に銀行は解散した。その後は商業会議所として改装されたが、現在は増築当時の姿に復元され、明治期の床の一部や装飾的な暖炉「マントルピース」が残っている。



佐賀市歴史民俗館 旧久富家住宅

佐賀市柳町4-16 【1階：カフェ、写真館、2階：レンタル着物、工房など入居】
☎0952-22-6849（佐賀市歴史民俗館）



履物問屋だった時代の 看板も残る

大正10年(1921)、履物商を営む初代久富亀一が「履物問屋 久富商店」として建てた。今でも土間の奥には「履物問屋」と書かれた木製の看板が残っている。外観は大棟の妻壁を大きく見せ、大型問屋の勢いを感じさせる。主屋の西にある土蔵造りとの間は、南側の裏十間川沿いへ通り抜ける通路になっており、往時の面影を感じられる。



佐賀市歴史民俗館 旧古賀家

佐賀市柳町3-15
☎0952-22-6849（佐賀市歴史民俗館）



住居と銀行建物との一体感が魅力

古賀銀行の初代頭取・古賀善平の住居で、旧古賀銀行の東隣に建つ。主屋は明治17年(1884)、古賀銀行開業に先立って建てられたと伝えられる。主な部材は当時のままで、15ある和室には見事な欄間や襖絵が残されている。住居の周りは門と塀に囲まれ、銀行と一体となって残されているところに価値がある。



佐賀市歴史民俗館 旧三省銀行

佐賀市柳町3-12
☎0952-22-6849（佐賀市歴史民俗館）



伝統的な町屋建築の銀行

明治15年(1882)に建築。伝統的な町屋建築でありながら銀行業務にあわせて工夫された空間構成が特徴である。2階座敷などに施された細かな意匠、大胆な外部意匠など、明治前期の息吹が感じられる建築であり、銀行の後は医院や住居として利用された。



佐賀市歴史民俗館 旧牛島家

佐賀市柳町4-9
☎0952-22-6849（佐賀市歴史民俗館）



旧城下町最古の町屋建築

江戸時代、町の老役（おとなやく）を務めた足軽高楊伊助が問屋業を営んでいた建物で、もとは佐賀市朝日町(旧今宿町)にあったが、平成8年に現在地に移転復元された。18世紀前期の建築と考えられ、その後、明治後期に今のような姿に整えられた。佐賀旧城下町に残された町家建築の中では最古とみられ、町家建築を知るには貴重な建物である。



佐賀市歴史民俗館 旧森永家住宅

佐賀市柳町4-7 【北蔵】和紅茶専門店 【居宅】鍋島綱通製作実演
【南蔵】佐賀の工芸品展示 ☎0952-22-6849（佐賀市歴史民俗館）



煙草製造の先駆け「森永煙草製造所」

寛政年間、柳町で森永家が藩の御用煙草を製造したのが佐賀の煙草製造のはじまりと伝えられ、明治時代に作られた「富士の煙」は香りが良く、佐賀の名物となり、大隈重信も愛用したといわれている。煙草の専売化に伴い呉服店に転じて作られた森永呉服店の看板が現在も残っており、当時を偲ばせる。明治前期に建てられた住宅と北土蔵、南土蔵から構成されている。



佐賀市歴史民俗館 旧福田家

佐賀市松原4-3-15
☎0952-22-6849（佐賀市歴史民俗館）



佐賀を代表する事業家が手がけた住居

明治末期から大正・昭和期にかけて、佐賀セメント、佐賀軌道会社の設立に尽力し、佐賀を代表する事業家として活躍した福田慶四郎の住居で、大正7年(1918)に建てられた。完成度の高い多様な接客空間が特徴的で屋敷地の構成をはじめ、設備、調度品も含めて当時の姿をよく残している。現在は、佐賀錦振興協議会の活動拠点として「佐賀錦」の織り実演の見学や体験ができる。

Area Topics

佐賀市歴史民俗館を巡り、煎茶で一服

煎茶の祖・売茶翁を知る肥前通仙亭

佐賀県は、お茶栽培発祥の地（神埼市東脊振）。なかでも日本人の暮らしに煎茶道を浸透させた高遊外売茶翁は佐賀市出身で、肥前通仙亭では、佐賀のお茶文化や煎茶の祖・高遊外売茶翁にまつわる資料を展示している。歩き疲れたら、煎茶でちょっと一服を。

DATA

肥前通仙亭（喫茶・甘味、土産等）
佐賀市松原四丁目6番18号
休み：毎週月曜
☎0952-65-2152
駐車場：23台

SAGATOCO

- | | |
|---------------------|--|
| 野中島犀園 約3km | 約2km 旧馬場家住宅 |
| 山口亮一旧宅 約2.4km | 約2km 佐賀市歴史民俗館（旧古賀銀行・旧久富家住宅・旧古賀家・旧三省銀行・旧牛島家・旧森永家住宅） |
| 旧百崎家住宅 約2.7km | 約2.5km 佐賀市歴史民俗館（旧福田家） |

JR佐賀駅

巡る語る佐賀県遺産 佐賀市エリア



旧馬場家住宅

佐賀市柳町1-12
JR佐賀駅より約2km
※外観のみ見学可

佐賀藩の藩医が住んだ住居

幕末から明治に入る頃、馬場家の祖先にあたる佐賀藩の藩医だった漢方医の高宗弘堂が住み、ここで開業したと伝えられている。嘉永7年(1854)の「佐嘉城下町叢帳」には、岡部奎之助組侍の古賀元恭が住んでいたと記されている。18世紀末から19世紀初期の建築と推定され、表の腕木門も同時期のものと考えられる。



MAP



旧百崎家住宅

佐賀市水ヶ江3-10-20
JR佐賀駅より約2.7km
※外観のみ見学可

武家地の風情を残す貴重な住宅

明治前期の木造平屋建ての寄棟造、茅葺き屋根の主屋棟と、昭和6年(1931)に増築された2階建ての離れからなる。佐賀藩に仕えた俳人や御典医を祖先にもつ百崎欽一が大正初期に譲り受け、自身も医師や俳人として活躍した。かつての佐賀城下の武家地に建ち、武家住宅の特徴をよく残す主屋は往時の面影を今に伝える。



MAP



東与賀の干潟を望む シチメンソウ群生地

佐賀市東与賀町田中、下古賀 JR佐賀駅より約12km
☎0952-45-1022(佐賀市東与賀支所) 駐車場あり

晩秋の干潟に広がる真っ赤なじゅうたん

東与賀の干潟に生息する希少植物シチメンソウは、晩秋になると色が変化し干潟を赤く染め「海の紅葉」と呼ばれている。約1.6kmに渡って広がるシチメンソウと渡り鳥、干潟の景色は、この季節しか鑑賞できない佐賀の宝。南に雲仙、北に佐賀平野・天山・脊振山系と360度の景色を楽しめる。



MAP



野中烏犀圓

佐賀市材木町1-3-17 JR佐賀駅より約3km
☎0952-23-2065(野中烏犀圓) 駐車場あり

江戸時代から続く漢方薬の老舗

寛永3年(1626)に創業した生薬商で、寛政8年(1796)に「烏犀圓」という生薬の製造許可を得たことを受けて、この地に建てられた。主屋の裏手は建て替えられたものの、道路側から見る店舗と北側にある「冷善楼」と呼ばれる座敷は当時のまま。冷善楼では、藩の役人が薬の検査を行ったと伝えられる。



MAP



山口亮一旧宅

佐賀市与賀町1368 JR佐賀駅より約2.4km 入館無料 10:00~16:00
休館日:月曜 ☎0952-60-2978(山口亮一旧宅) 駐車場あり
※施設利用は要相談

佐賀美術界の拠点

佐賀美術協会の創設者・山口亮一画伯(1880~1967)の創作活動の場、後進の育成の場として佐賀の美術界の拠点となった。主屋は山口画伯の養祖父にあたる梅堂が十代藩主鍋島直正公の御典医としての地位を得た天保期(1830~1843)に、白石町の須古にあった建物を解体し、現在の地に移築したと伝えられている。



MAP



徴古館

佐賀市松原2-5-22 JR佐賀駅より約1.8km
入館料:300円(中学生以下無料)
休館日:展示室は企画展開催期間中のみ公開(徴古館HPで要確認) ※外観はいつでも見学可
☎0952-23-4200(鍋島報効会) 駐車場あり



MAP

Area Topics

世界に誇れる干潟の情報発信基地

東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」



東よか干潟は国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されており、日本一のシギ・チドリ類の渡来数を誇り、ムツゴロウやシオマネキ、ワラスボなどユニークな干潟の生き物も多く生息している。展望回廊から360度見渡せる干潟や田園風景は人々に癒しを与えてくれる。

DATA 佐賀市東与賀町田中2757-4
干潟よか公園西側
入館料:無料 9:00~17:00
休み:月曜(祝日の場合は翌平日)、
年末年始(12月29日~1月3日)
☎0952-37-0515



昭和初期の佐賀県を 代表する洋風建築の一つ

昭和2(1927)年、12代侯爵鍋島直映公により、佐賀県内初の博物館として創設された。当時、一帯は「銅像園」と呼ばれ、10代藩主鍋島直正公の銅像などが建てられていた。建物は、県内では初期の本格的な鉄筋コンクリート造りの建造物として貴重である。現在も創設時の思いを受け継ぐ郷土の歴史博物館「徴古館」として活用されている。

SAGATOCO

JR佐賀駅

約1.8km 徴古館

約12km 東与賀の干潟を望むシチメンソウ群生地

巡る語る佐賀県遺産 神崎市エリア



仁比山神社の仁王門

神崎市神崎町的1692-2
JR神崎駅より約5.2km
☎0952-53-0340(仁比山神社) 駐車場あり



MAP

九州最古級の仁王が祀られる山門

桜や紅葉の景勝地としても有名な仁比山地区にある仁比山神社は、山の神・農業の神が祭られており、地元では山王さんと呼ばれ親しまれている。神社入り口にある仁王門は、江戸時代に建てられ、3間1戸の八脚門が特徴。仁王像は九州では最古級で、門に向かって右に阿形、左に吽形の仁王像が安置されている。



ひのはしら一里塚

神崎市神崎町田道ヶ里1080
JR神崎駅より約1.4km 駐車場あり



MAP

長崎街道に唯一残る一里塚

筑前・筑後・肥前境の三国峠を基点に、一里(約4キロ)ごとに江戸(東京)へ向かって左側に設置された目安塚の一つ。その名のとおり「ひのはしら」は緋色(赤色)のことで、昔、この場所に櫛田宮の赤木の鳥居がそびえていたことからつけられた。頂上のいぼ地蔵は、立願には、いり豆を好み、また、脊振山との背比べのため土を高めることを好んだという。



旧古賀銀行神崎支店

神崎市神崎町神崎3-438 JR神崎駅より約900m
☎0952-37-3593(神崎市) 駐車場あり



MAP



長崎街道に建つ 大正時代の銀行建築

県内洋風建築の草分け 舟木右馬之助の設計で、大正3年(1914)に建てられた。屋根は、棧瓦葺き寄棟造りで、正面中央に半円形のドーマーウィンドウを有し、両端に棟飾りを置く。古賀銀行が昭和8年(1933)に解散した後は、産院や歯科医院として活用された。外観は洋風だが、木造かつ伝統的な和小屋で屋根を支えるなど、在来の技術で建てられている。



脊振神社上宮弁財天石宝殿と関連遺産群

神崎市脊振町服巻1359-5
JR神崎駅より約23km 駐車場あり



MAP



下村湖人生家

神崎市千代田町崎村895-1 JR神崎駅より約7.7km
入場無料 10:00~17:00(12月~2月は16:30まで)
休館日:月曜、年末年始 ☎0952-44-5167(下村湖人生家) 駐車場あり



MAP



五穀豊穰開運財運の 神様として崇敬を 集める神社

天和年間(1681~1684年)に始まった国境を巡る農民の争いは、佐賀藩と福岡藩の論争に発展した。元禄6(1663)年、佐賀側が勝訴したことを受け、藩主鍋島綱茂が国境を後世に残すべく、元禄10(1697)年、石宝殿を建立した。脊振山頂に建立されたことから、鍋島藩の思いの強さが感じられる。



下村湖人の 精神が息づく生家

千代田出身の教育家・作家下村湖人の生家。勘定方をしていた湖人の祖父が蓮池鍋島藩邸にあった建物を譲り受けこの地に移設したと伝えられている。著作「次郎物語」の中にも間取りや庭の様子が描かれ、映画化された際の舞台にもなった。住居は明治初期の建造物としても価値があり、当時の暮らしがうかがえる。

SAGATOCO

